

台風4号及び梅雨前線による大雨に関する対応(第3報)

平成19年8月17日

9 : 0 0 時 現 在

国 土 地 理 院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

1) 概要

7月5日以降、日本付近に停滞した梅雨前線により、九州の広い範囲と四国、近畿東海地方の一部で大雨となった。

特に九州では、5日から14日までの雨量が平年の7月の月間平均雨量の2倍を超える記録的な大雨となっているところがあり、13日には、台風の接近・通過した沖縄本島地方で200ミリを超える大雨が観測され、また、宮崎県の日向で24時間雨量が381ミリと観測史上第1位を記録するなど、西日本の太平洋側を中心に大雨となった。

今後は東日本の太平洋側と東北地方にかけて激しい雨と風の恐れがある。

2. 体制等

7月14日(土) 22時30分 「台風4号及び梅雨前線による大雨」災害対策会議を設置。

7月15日(日) 10時00分 第1回災害対策会議を開催。

8月 2日(木) 8時30分 災害対策会議を閉鎖。

3. 主な活動状況

1) 地理情報の提供

- ・内閣府等に電子メールで地図画像を提供。
- ・国土交通省道路局国道・防災課道路防災対策室に地形図を提供。

2) 会議等への出席

7月12日(木) 17時から開催の「台風4号及び梅雨前線による大雨に関する関係省庁連絡会議」に企画部長が出席

7月13日(金) 「台風4号及び梅雨前線による災害に係る熊本県への政府調査団」に地理空間情報部長が参加。

7月14日(土) 22時から開催の「台風第4号に関する災害対策関係省庁局長会議」に参事官が出席。

3) 国土地理院ホームページによる情報提供

7月15日(日) 13時00分 「台風4号及び梅雨前線による大雨に関する関連ページ」を開設。

<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H19-4gou/index.html>